

平成 22 年度 第 2 回 JICA 貿易促進研修 -JICA Foreign Trade Development Course-



(神戸大学にて国別レポート発表)

研修期間：平成 22 年 5 月 18 日～7 月 2 日 (7 週間)
研修場所：神戸/西宮/大阪/広島/岡山/三木/名古屋/
東京/埼玉
研修内容：貿易促進に関する講義/視察
参加研修員：6 名(アルゼンチン 1、バングラデシュ 2、
エジプト 1、ラオス 1、モンゴル 1)

当財団では、独立行政法人国際協力機構(JICA)からの委託を受け、貿易促進研修を実施しました。本研修は 30 年を超える歴史があり、本年度はアルゼンチン、バングラデシュ、エジプト、ラオス、モンゴルから貿易振興担当の政府職員を 6 名迎え、神戸市内を中心に 7 週間の研修を行いました。研修の目的は、貿易立国としての日本経済の特徴や発展の経緯を学び、研修員の自国の貿易振興を目指すことであり、神戸市内の物流施設や神戸税関などを視察しました。また、岡山、広島、名古屋、東京での研修旅行では、毛筆などの伝統産業や日本の主要産業である鉄鋼、自動車製造の現場を視察するなど、多岐にわたる講義・視察を行いました。

～研修を振り返って～

5 月 18 日、5 ヶ国 6 名の研修員は、これから始まる研修に大きな期待を抱き、開講式に集いました。それぞれ出身国の異なる研修員同士、最初は少し緊張気味の様子でしたが、7 週間共に学び、宿泊先でもある JICA 兵庫センターのアットホームな雰囲気にもまれて生活を共にする中で、いつしか JICA 兵庫センターが「仲間と集う我が家」のようになり、研修員同士の絆も深まったようです。

研修員にとって、初めての「日本」は新鮮であり、奥深くもあり、特にトヨタテクノロジーミュージアム産業技術記念館を見学した際には、近代日本の発展を支えた基幹産業の一つである繊維機械から、現在の自動車製造に至るまでの技術の変遷を通して、日本の「モノづくり」の精神をひしひしと感じているようでした。

研修員からは、「様々な分野の視察を通して、日本がどのように経済発展を遂げてきたのかがよくわかった」「日本人は勤勉で規則正しく友好的」「親切かつ礼儀正しい」「ハードワーカーの人が多く、そのことが日本の経済発展のキーポイントになっているのでは」などの感想が寄せられました。また、「神戸は街並みがきれいで、花々が美しく咲いている」「神戸が第二の故郷となった」などのコメントも頂き、長期間神戸に滞在し、多くの人々と交流する中で、神戸の魅力、ひいては日本の魅力を感じてもらえたことを、大変嬉しく思います。

7 月 2 日の閉講式の際、「研修を通して出会えた方々は皆、私達の新しい家族です」と

話す研修員の笑顔、そして晴れ晴れと修了証書を受け取る姿がとても印象的でした。研修員一人一人が、日本での経験を自国の職務において有意義に活かしていけるものと確信すると共に、研修員各国の今後の更なる発展を期待しています。

研修担当：原田 美保代

委託元機関：独立行政法人国際協力機構(JICA)兵庫国際センター

研修指導者：神戸大学大学院国際協力研究科 松永 宣明 教授

講義/視察先：神戸大学/関西学院大学/京都産業大学/広島修道大学/流通科学大学/
中京大学/九州大学/

神戸市産業振興局/経済産業省近畿経済産業局/(財)大阪産業振興機構

クリエイション・コア東大阪/神戸商工会議所/(独)国際協力機構(JICA)

本部/(財)日本規格協会/(独)日本貿易振興機構/(独)農林水産消費安全

技術センター/国際協力銀行/(独)日本貿易保険/(独)中小企業基盤整備

機構/財務省神戸税関/農林水産省神戸植物防疫所/

生活協同組合コープこうべ/三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)/

阪急西宮ガーデンズ/協同組合産団協/ヤマギワインターナショナル(株)/

大島金属工業(株)/日本繊維輸入組合/(株)白鳳堂/JFEスチール(株)/

白鶴酒造(株)/カワノ(株)/三木工業協同組合/(株)岡田金属工業所/

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館/トヨタ自動車(株)/

丸紅(株)/(株)ミツクラ/(株)上組/神栄(株)/農食研

【順不同】
